



デ活

データ利活用協議会
Data use and application council for resilience
シンポジウム 2021

for R 首都圏
レジリエンス
プロジェクト
Tokyo Metropolitan Resilience Project

首都圏レジリエンスプロジェクト・データ利活用協議会は「予防」「予測」「対応」の観点から総合的なレジリエンスの向上に取り組んでいます。

本シンポジウムにおいては、プロジェクト最終年度として、デ活、特に産官学界が融合しその課題解決に取り組んできた分科会から、「IoT技術活用分科会」「建物付帯設備分科会」のこれまでの取り組みと今後のビジョンを共有いたします。

令和3年度 第1回デ活シンポジウム

ONLINE

事前申込制/参加無料

Zoomウェビナー参加で双方向のコミュニケーション

プロジェクト最終年度の デ活が伝えたいこと（その1）

2017年度に始まった当プロジェクト、同年度には「データ利活用協議会（デ活）」が設立され、更に会員ニーズ別に8つの分科会が編成されて参りました。今回のシンポジウムでは「IoT技術活用分科会」「建物付帯設備分科会」の2分科会会長が、それぞれ社会実装に向けた取り組み等を発表します。

第1部 基調講演：首都圏レジリエンスプロジェクト・デ活 が作ってきたものと課題

第2部 グループセッション：「IoT技術活用分科会」「建物付帯設備分科会」のこれまでの取り組みと今後のビジョン

第3部 全体セッション：プロジェクト最終年度のデ活が伝えたいこと（その1）

2021.7.2



15:00-17:00
(14:45より中継を開始します)

シンポジウム参加者 事前申込登録ページ
<https://nied-forrduc-regist.smartcore.jp/>



YouTube LIVE でも同時中継

<https://www.youtube.com/c/DEKATSU>



災害時を想定した多元中継によるオンライン開催



文部科学省

プログラム

■ 15:00 はじめに 下村 健一（令和メディア研究所主宰 / 白鷗大学 特任教授 / 元TBSキャスター）

あいさつ ●文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課

●平田 直（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 / 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長）



下村 健一

第1部

基調講演

■ 15:10 「首都圏レジリエンスプロジェクト・デ活 が作ってきたものと課題」

平田 直（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 / 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長）

第2部

グループセッション

■ 15:35 「IoT技術活用分科会」「建物付帯設備分科会」の
これまでの取り組みと今後のビジョン

①「IoT & DXで実現する産官学連携のデータ利活用」

西村 出（IoT技術活用分科会会長 / 株式会社セブンイーレブ・ジャパン 執行役員システム本部長）他

②「建物にセンサーを置くことの意義と未来の建物ができること」

楠 浩一（建物付帯設備分科会会長 / 東京大学地震研究所 教授 / サブプロ【c】分担責任者）他



西村 出



楠 浩一

第3部

全体セッション

■ 16:30 プロジェクト最終年度のデ活が伝えたいこと（その1）

下村 健一（令和メディア研究所主宰 / 白鷗大学 特任教授 / 元TBSキャスター）

平田 直（防災科研 首都圏レジリエンスプロジェクト 総括 / 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長）

および 第2部の出演者

■ 16:55 むすび 下村 健一（令和メディア研究所主宰 / 白鷗大学 特任教授 / 元TBSキャスター）



平田 直

サブプロ(a)

sub
a

首都圏を中心としたレジリエンス総合力向上に資するデータ利活用に向けた連携体制の構築

サブプロ【a】では、(1)被害の拡大を阻止し、都市機能の早期復旧・復興を実現する技術的課題抽出、データ利活用策の検討をするともに、(2)データ利活用に向けた民間企業や関係機関等との連携を模索する（社会科学を中心とした防災研究）。16の研究機関・大学（25名）と1つの企業・団体（1名）が研究開発を実施。

統括：田村 圭子 新潟大学 危機管理本部 危機管理室 教授
上石 勲 防災科研 首都圏レジリエンス研究推進センター 副センター長

サブプロ(b)

sub
b

官民連携による超高密度地震動観測データの収集・整備

サブプロ【b】では、(1)官民連携超高密度観測データの収集・整備と、(2)マルチデータインテグレーションシステムの検討を行う（理学を中心とした防災研究）。3つの研究機関・大学（29名）と1つの企業・団体（1名）が研究開発を実施。

統括：酒井 慎一 東京大学 地震研究所 / 情報学環・学際情報学府 教授
青井 真 防災科研 地震津波火山ネットワークセンター長・総括主任研究員

サブプロ(c)

sub
c

非構造部材を含む構造物の崩壊余裕度に関するデータ収集・整備

サブプロ【c】では、(1)非構造部材を含む崩壊余裕度に関するデータ収集・整備、(2)地盤－建物系のセンシングデータの収集・整備を行う（工学を中心とした防災研究）。12の研究機関・大学（31名）と3つの企業・団体（4名）が研究開発を実施。

統括：西谷 章 早稲田大学 理工学術院 総合研究所 特任研究教授
梶原 浩一 防災科研 地震減災実験研究部門（兵庫耐震工学研究センター）部門長・総括主任研究員

